

令和元年第 61 回献上茶謹製事業

5/28

献上茶を送達しました

本年度、当町で実施された献上茶謹製事業の献上茶を皇室へ奉呈しました。
この日、宮内庁、赤坂御所および御仮寓所へ伺った参上者は、献上茶謹製事業実行委員会の鈴木敏夫会長（町長）、池谷薫副会長（大井川農協組合長）、河野廣太郎副会長（川根茶手揉保存会長）、献上茶指定園主の坂本政司氏、山下 誠氏、森 雅典氏（石山貴美夫氏の代理）の6人です。
その後、議員会館にて地元選出の国会議員に対して報告が行われたほか、6月17日には静岡県知事への報告も行いました。



▲地元選出の国会議員に対し送達の報告を行う参上者



▲献上茶は記念缶で謹製記念式典の参加者にも配布されました。



▲献上茶が収められた3本の彫刻缶

▲献上茶缶が収められた桐の箱
(写真は報告などで使用した2本入りの記念品)

大井川環境と生態を感じる

5/24

本川根小学校児童がアマゴ放流を実施

八木キャンプ場において、本川根小学校の全校児童48人が毎年恒例となっているアマゴ稚魚の放流を行いました。
児童たちは、漁協の担当者からアマゴの養殖方法と成長過程、天敵であるカワウについてなどの説明を受けたあと、稚魚を放流しました。
今回放流した稚魚は新大井川漁協本川根支部が用意した約500匹で、担当者から稚魚が入った容器を手渡された児童たちは「行ってらっしゃい」などと声をかけながら大井川に放流していました。



●容器からアマゴを放流していく児童

5/24

いつもと違う生徒総会

役場本会議場で中川根中学校生徒総会を実施



●議場という緊張感の中で活発な議論が交わされました

今回の生徒総会は、行政や議会への理解を深めることを目的に、役場の議場を会場として開催されました。
生徒会役員が説明者、一般の生徒が質問者となり、各委員が答弁席で事業説明を行うなど、本当の議会さながらの形式で議事が進行されました。
一般の生徒からは様々な質問が出されたほか、通常の議会とは異なり傍聴席からも質問が飛び一幕も見られました。
説明者となった生徒のひとり「議場での総会は緊張感が違った」と感想を語りました。

川根の魅力を味わって

6/2

川根高校南麓祭で1年生が呈茶を行いました

川根高校の1年生が文化祭の出し物の一つとして来場者への呈茶を行いました。
生徒たちが5月に行った手摘み体験で自分たちが摘んだ茶葉から仕上げられた煎茶を来場者に振る舞いました。
今回の呈茶にむけてお茶の入れ方講座を受講していたこともあり、来場者からは「昨年よりも本格的」、「お茶がおいしくて生徒の皆さんも礼儀正しい」といった声が聞かれました。
呈茶を行った川高生の芦沢颯汰さんは「初めてで緊張したが、やってみたら楽しかった」と感想を語りました。



●ピンクのスタッフTシャツでお茶を振る舞う川高生